

## 令和4年度 第1回日野市廃棄物減量等推進審議会 要点録

- 日時 令和4年（2022年）12月14日（火） 午後2時～3時30分
- 会場 日野市立石田環境プラザ 集会室
- 出席者 審議会委員  
加納委員（公募市民） 小池委員（公募市民）  
齋藤委員（公募市民）  
藤原委員（事業者） 松枝委員（事業者）  
高松委員（資源回収業者） 秋間委員（廃棄物収集業者）  
小野寺委員（学識経験者） 宮脇委員（学識経験者）  
事務局  
小笠クリーンセンター長兼施設課長  
〔施設課〕細谷課長補佐  
〔ごみゼロ推進課〕高尾課長、高橋課長補佐、阿部係長、山口
- 欠席者 黒川委員（公募市民） 駒沢委員（廃棄物収集業者）
- 傍聴者 なし

1. 副市長挨拶
2. 会長挨拶
3. 諮問事項  
第3次日野市ごみゼロプラン（日野市一般廃棄物処理基本計画）の中間検証と後期に向けたプランの改定について（素案）
4. 報告事項
  - 北川原公園予定地ごみ搬入路整備に関する住民訴訟判決をふまえた今後の対応について
  - 令和3年度ごみ量報告と令和4年度ごみ排出状況について
    - ・令和3年度ごみ量・処理費用報告
    - ・令和4年度ごみ量報告
  - 令和4年度ごみ処理状況について
    - ・両施設の運転状況
    - ・両施設の搬入状況
  - 施策等の実施状況について
    - ・レジごみ袋について
    - ・㈱ジモティーとの共同事業について
    - ・剪定枝等受入について
    - ・水銀回収キャンペーンについて
5. その他

## 1. 副市長挨拶

荻原副市長より挨拶。

挨拶の中で、北川原公園予定地ごみ搬入路整備に関する住民訴訟判決を受け、解決に向けて真摯に取り組むこと、持続可能な未来のため 2050 年に二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、11 月 6 日に「日野市気候非常事態宣言」を行ったことについて説明。

## 2. 会長挨拶

宮脇会長より挨拶

## 3. 諮問事項

### 第 3 次日野市ごみゼロプラン（日野市一般廃棄物処理基本計画）の中間検証と後期に向けたプランの改定について（素案）

＜ごみゼロ推進課課長補佐＞主に前年からの変更点について、資料 1-1 資料 1-2 資料 1-3 に沿って説明。

＜小池委員＞行政回収から民間回収へのシフトについては、お店での回収のことか。

＜ごみゼロ推進課課長補佐＞もともとは行政が責任もって回収することになっている。日野市は「容器包装お返し大作戦」として店舗で回収に取り組んでいただいているが、すべての店舗ではない。今までやっていなかったコンビニなど、事業者が SDGs の流れで自ら考えて始めるものがあれば、行政として後押しする。

＜小池委員＞「容器包装お返し大作戦」の回収量は把握しているのか。

＜ごみゼロ推進課課長補佐＞調査をかけて把握している。

＜齋藤委員＞資料 1-2（素案）では、文字のフォントは何を使っているのか。「t（トン）」が十字に見える。また、飛灰の固化処理のような話は一般市民が読んだら分からない。

＜クリーンセンター長＞書き方を工夫する。

＜小池委員＞不燃残渣は埋め立て処分されているのか。

＜クリーンセンター長＞現在は埋め立てゼロ。素案 59 ページの記述は、第 3 次ごみゼロプランを作った当初の記述。次ページで分かりやすく説明するようにしたい。

＜ごみゼロ推進課課長補佐＞分かりやすい記述となるよう工夫する。

<松枝委員>不燃残渣は燃えないものではないのか。可燃性のものもあるのか。

<クリーンセンター長>不燃残渣は、以前破砕して埋め立てていた陶器、ガラス等。これらについては、現在は施設の運用として焼却処理しており、埋め立て処分はゼロになっている。

<宮脇会長>議論を踏まえ、先ほど意見が出たように、表記を分かりやすく修正の上、素案の内容については「適当である」とお認めいただき、答申してよいか。

→「異議なし」

<宮脇会長>修正については会長に一任いただいてよいか。

→「異議なし」

<宮脇会長>委員から出た意見については、今後、市の施策の中で活かしていただく。

#### 4. 報告事項

##### ○北川原公園予定地ごみ搬入路整備に関する住民訴訟判決をふまえた

##### 今後の対応について

<ごみゼロ推進課長>資料2について説明

10/9に原告団との合意したそれぞれの取り組みについて、時間をかけて整理していかなければならないものもあるが、真摯に取り組んでいく。

<高松委員>30年後の計画があるのか。

<クリーンセンター長>具体的な計画・方針はまだ。色々な方策を考え、30年の中で脱焼却も含めて考える。次の施設の場所は国分寺か小金井になるにしても、地域住民に迷惑が掛からぬよう、ごみゼロ社会を目指していく。

##### ○令和3年度ごみ量報告と令和4年度ごみ排出状況について

<ごみゼロ推進課長>資料3-1 資料3-2 資料3-3 資料3-4に沿って説明。

<松枝委員>1人1日当たりごみ量全国2位（人口10万人以上50万人未満自治体）とのことだが、1位とはどのくらいの差か。

<クリーンセンター長>1位の掛川市と32gの差。

<齋藤委員>ごみ量は台貫量りか。

<クリーンセンター長>びんの搬出時はフォークリフトの量りも使うが、他は台貫。

<齋藤委員>配分量について、令和元年度から搬入実績が配分量より少ないようだが。

<クリーンセンター長>飛灰処理方法の変更の影響が大きいと考えられる。

#### ○令和4年度ごみ処理状況について

<ごみゼロ推進課長>資料4に沿って説明。

(質疑なし)

#### ○施策等の実施状況について

<ごみゼロ推進課長>資料5-1 資料5-2 資料5-3 資料5-4に沿って説明。

<齋藤委員>水銀回収キャンペーンの実績の単位は何か。

<ごみゼロ推進課長>単位は「個」。

<小池委員>剪定枝で、有料の平日持ち込みと無料の臨時受付の違いは何か。

<ごみゼロ推進課長>平日は色々なものと一緒に、ごみとして有料で受け入れている。第3土曜の臨時受付では剪定枝のみを無料で受け入れ、資源化している。

<クリーンセンター長> 臨時受付は、以前行っていた無料の剪定枝拠点収集の代替措置として行っている。

<松枝委員>ジモティーとの取り組みについては、世田谷の事例と同じようなものか。

<ごみゼロ推進課長>世田谷区の事例を見に行った。日野市ではより大規模に行っており、八王子市など、他自治体にも広がりつつある。

## 4. その他

(現委員任期の最終回に当たり、各委員より感想)

- ・ごみの問題は奥が深く、分別収集にも苦勞が多いと感じた。
- ・日野市で資源物の回収業務をさせていただいており、市民の皆様のご協力と、分別されていないものに苦勞すること、両方を感じながら、これからも行政と一緒にしっかり取り組んで

いきたい。

- ・市民の方の意見を直接伺える機会が、勉強になった。ごみ減量を、市・市民と共に進めていきたい。
- ・日野市行政にはもう少し頑張ってもらいたい。まだ物足りなさを感じる。
- ・ごみの問題にずっと関心を持ってきた。これからも、地域のため、出来る範囲で取り組んでいきたい。
- ・会議資料でごみ・資源物量の推移を見ると、回転市場に提供される品目別の量と同じ動きをしていると感じた。
- ・年齢のこともあり、今回で委員を最後にさせていただく。長い間委員をさせていただいて心残りもあるが、色々ありがとうございました。
- ・ごみの問題は、地道な努力でしか解決しない。市民が頑張っていくことと行政がそれに向き合ってコツコツと継続的に作業を進めていくことが大事だと感じた。

## 5. 閉会